

令和5年度 金沢型学習スタイル実践推進事業 報告書

長田町小学校	金沢型学習スタイル実践 推進事業 重点課題推進校	教科一般 [学習評価の充実]
--------	-----------------------------	----------------

1 研究の重点と具体的な取組

学校教育目標を受け、児童が学びの変容を実感できる深い学びにつなげるための授業を目指し、研究主題を「全員の考えに変容がある授業」とし、共通実践を重ね、授業力の向上を目指してきた。

(1) 重点1 「考えたい」を引き出す手立て

児童のゴールの姿を明確にし、考えたいくなるような課題を設定することにより、児童が主体的に学ぶことができるようにする。

(2) 重点2 「伝え合いたい」を引き出す手立て

伝え合いたくなる手立てをとることにより、友だちとかかわり合いながら学びを深めることができるようにする。

(3) 重点3 児童の学びを適切に見取る手立て

児童の学びを適切に見取ることにより、学びや自己の変容を実感することができるようにする。

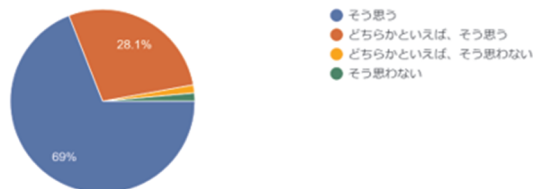


2 取組の検証

- ・教員アンケート
- ・児童アンケート
- ・各種調査項目の評価結果
- ・ノート指導等の児童の変容の見取り

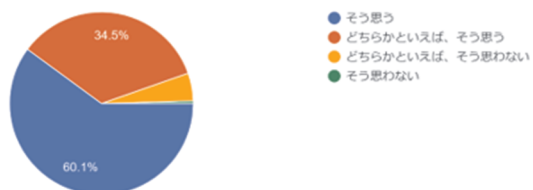
学んだことをつかって、ふりかえりを書いている。

1 学期



学んだことをつかって、ふりかえりを書いている。

2 学期



3 成果と課題

(1) 成果

- ・目的意識や相手意識をもった課題の提示や明確なゴールの設定により、主体的に課題に取り組み、「考えたい」という意欲を引き出すことができた。
- ・「長田っ子のふり返し」や「チェンジバロメーター」に加え、「心情メーター」、「ネーム移動」、「変容の自覚化を促す問い返し」といった「変容」を自覚するための有効な手立てがわかった。

(2) 課題

- ・何がわかったか、自分の考えがどう変わったのかといった、児童の「変容」の姿の具体化が十分ではなかった。
- ・考えを深めるための交流をしたが、交流の目的を児童と共有し、必要感のある交流にしていけることに課題がみられた。